

令和5年度

事 業 報 告 (案)

社会福祉法人 白老宏友会  
指定障がい福祉サービス 愛泉園  
(生活介護事業)

## 1. 総 括

令和5年度は新型コロナが2類から5類に移行された為、行事等を含め徐々に感染防止の緩和措置を講じながら日常生活の潤いと充足を目指し各種活動を行った。

軽作業活動では、新規に「カシス狩り」を企画し町民への周知を実施。また、利用者主体の農作業では、枝豆やジャガイモなどの野菜を「ご近所野菜市」（共生型事業）で販売するなど利用者と地域の方との交流を促進しました。アイヌ文様事業では、ウポポイ内での販売の他、駅北インフォメーションセンターでの販売を行い、加えてよもぎ入浴剤等の販促も実施。その他、地域の企業からの下請け事業（製袋・シイタケ軸切り）もあり、過去最高額を利用者工賃として還元することができました。また、高騰が続き原材料や光熱費が上昇する状況ですが、利用者の地域生活の一助になる貴重な工賃として、無理のない範囲で更なる創意工夫を含め6年度も取り組んでいきたいと考えています。

事業全般では、利用者のグループ外出など徐々に感染防止の解除を行いつつ、楽しい活動が増やせるようインターネット環境（楽天アンテナの敷地内設置）の改善を進め、利用者向けタブレットの導入も行った。愛泉園の白老市街地への移設については、物価高騰による予算不足もあり研鑽を継続。

燃料費高騰や非常災害対策においては太陽光パネル及び蓄電池設備について、愛泉園を含めた法人全事業所の協力により整備を行うことができました。

## 2. 各種活動報告

### 〈薬草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」については、総数約**6,000**個、総額**362,447**円（前年比90%）の売り上げがありました。定期購入の個人売り上げや大口取引先の宿泊施設への納品が継続されております。

委託業務である新聞たたみの作業については、委託先の規模縮小により作業量も大幅に縮小され年間売上**7,249**円の工賃財源になりました。それに代わる作業として昨年度試験的に行った「しいたけの軸切り」作業は、利用者のペースで安定的に行うことができ軽作業として定着、そのため今年度は**777,392**円の売り上げがありました。

「文様事業」では、コロナ禍が感染症法において「2類→5類」に移行し、国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）での販売で制限の無い状態での営業となりました。「ななかまどイレンカ」と「ポロトミンタラ」への商品の供給や、高等養護学校などからの特注品の製作にも対応しました。利用者の活動と工賃財源の確保に取り組んだ結果、ななかまどイレンカ単体の売り上げは**4,441,032**円（前年比74%）、白老観光協会運営の「ポロトミンタラ」では**601,435**円（前年比142%）の売り上げとなっています。町内の宿泊施設等2か所に依頼して設置しているカプセルトイ（ガチャガチャ）の売り上げが**99,900**円（前年比66%）を計上、設置場所の減少が原因となっています。生産活動全体の売上額は総額**8,951,327**円を計上しました。多少減少したものの、ほぼ昨年並みの売り上げを確保することができました。



【愛泉園の“生”カシス】

【作業風景の一部】

【刺繡製品の製作開始】

#### 〈療育活動〉

本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。敷地内をウォーキング、野菜や果物の収穫、室内でも運動ができるようにマシンを使用し個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有を図り助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種活動を行う中で、仲間達と喜びを共有してもらえるよう努めました。



【収穫祭】

【忘年会】

【新年会】

#### 〈農耕作業〉

昨年度は「シカ」による被害で枝豆が全滅するなどの影響が出たため、今年度は電気柵を購入し設置しました。電気柵の効果もあり「シャインマスカット」「枝豆」、ほかの野菜など害獣被害もなく沢山の実を付け利用者のおやつや、ご近所野菜市での販売につなげることができました。収穫された野菜や果樹は共生型事業所における「ご近所野菜市」、「ななかまど」、「みらいえジェラート工房ミナピエノ」で 582,810 円の売上げがありました。一部は給食の食材として、また、行事等でも使用することで、利用者に新鮮な野菜の提供を可能にし、さらに栽培から消費までを一貫して体験したことが、利用者の笑顔につながったことと思います。また、カシスの挿し木による作付面積を拡張し、近い将来愛泉園利用者の資産となるよう育てています。重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めております。

(生産実績) 園内耕地 おかひじき、スティックブロッコリー、いんげん、キュウリ、ゴーヤ、スナップエンドウ、パクチー、枝豆、ゴボウ、シシトウ、ほうれん草、オクラ、

小松菜、じやがいも、秋田フキ、行者ニンニク、ナス、ピーマン、プラム、シャインマスカット、カシス、藍

#### 〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

### 3. 作業工賃

活動内容や貢献度によって日額 300 円、350 円、450 円、550 円の工賃及び賞与を支給し、25 名の利用者に対して総額 2,703,800 円（1 人平均年 108,152 円）を還元できました。

### 4. 職員研修

新型コロナが 5 類感染症に移行したこともあり、徐々にではありますが、外部への研修も再開し始めました。また、ウェブを活用した研修も実施しておりましたが、愛泉園は光回線がなく本部の回線を借りて利用していたため、十分な実施には至りませんでした。（令和 6 年度は、愛泉園敷地内に設置された楽天モバイルの電波塔の本格稼働により、オンライン環境が整ったことを受け、内部と外部への研修も積極的に行っていきます。）

### 5. 余暇活動支援

利用者の楽しみのために各種余暇活動の充足を目指し、実施しました。主な取り組みは、月例行事として本人の誕生日にはお菓子を用意し、皆でお祝いを行いました。年間行事では、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り、ハロウィーンパーティなど季節的な催しの他に、冬にはミニ運動会的な「アイセンピック」を実施。日中活動においては「スノードームづくり」など、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙いつつ、思い出に残るような行事を行いました。

その他の屋内外の行事として、製菓活動・ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊への日帰り外出、大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させています。



【冬季アイセンピック】

【ハロウィーン】

【スノードーム作り】

### 6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

## 7. 事故防止策および事故対応策

緊急時の連絡網として[LINE]での情報交換を日頃から活用し、緊急時に対応できるよう努めてきました。また、事故防止のためのヒアリハット案件を毎月探し出し、職員へ周知しながら事故防止への意識を高めるとともに、他事業所へも運営会議を通じて周知してきました。

## 8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受付け窓口に寄せられたものはありませんでしたが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かしております。

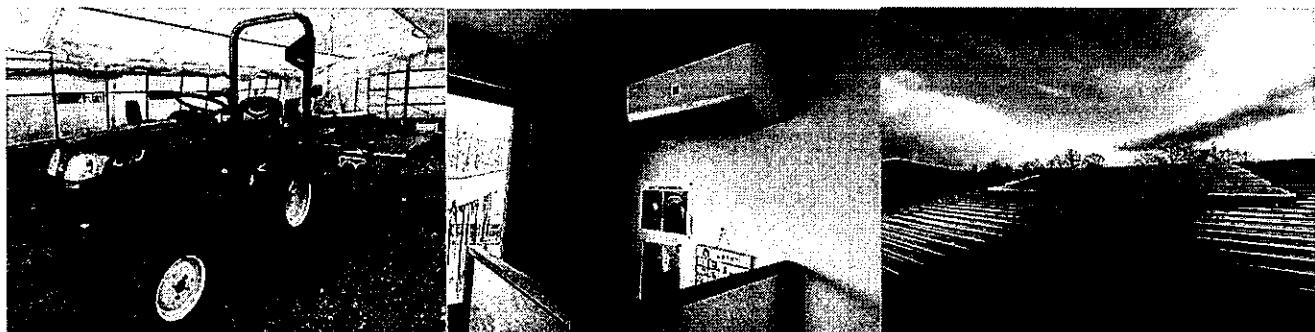
## 9. 保健医療支援

健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種の実施、新型コロナウイルス予防接種の2度実施、感染防止強化による手指の消毒、加湿、換気、空気清浄などを重点的に実施しました。また、園内の手すりやドアノブの消毒、公用車内の消毒を習慣化し、感染症予防を行っています。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録表をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行っております。

3月に、新型コロナ感染拡大の兆しがあったため、愛泉園の通所を一日停止し、拡大防止に努めました。幸い、新型コロナワクチン予防接種による抗体の獲得やウィルスの弱毒化もあり、感染は大きく広がらず、感染者はみな軽症で経過しました。

## 10. 管理業務

予算の適正な執行と経費節減に心掛けました。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができます。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。値上がりする電気代対策としてはソーラーパネルを、近年の気温上昇による熱中症対策としては、エアコンをそれぞれ設置しています。また前年度末に導入したトラクターにより農作業の効率化や今年度末に導入した自走式草刈り機により労働環境の改善につながっています。災害を想定した（地震、火災）避難訓練、不審者の侵入を想定した防犯訓練も行っています。



【トラクター購入】

【エアコン設置】

【太陽光発電システム】